

【12 釈 文】 吾妻郡吹路村年貢割付状（天保五年：一八三四）

午御年貢可レ納割附之事

卯より子迄拾ヶ年定免 上州吾妻郡
一 高三拾七石弍斗 吹路村
此反別拾九町三反四畝拾弍歩

納合 米弍石五斗四升四合
永五貫四百三拾四文八分

右者定免、当午御取箇、書面之通候条
村中大小之百姓・入作之もの迄、不レ残
立会、無ニ高下一割ニ合之一、来ル極月十日限、
急度可レ令ニ皆濟一者也

天保五年十月 矢 嶋 藤 蔵 印

右 村
名 主
組 頭
惣 百姓

【12 読み下し文】

午（うま）御年貢納むべき割り附けの事

卯より子迄拾ヶ年定免（じょうめん） 上州吾妻郡
一 高三拾七石弍斗 吹路村
此（こ）の反別拾九町三反四畝拾弍歩

納め合わせ 米弍石五斗四升四合
永五貫四百三拾四文八分

右は定免、当午御取箇（とりか）、書面の通り候条
村中大小の百姓・入作（いりさく）のもの迄、残らず
立ち会い、高下（こうげ）無く、これを割り合い、来る極月十日限り、
急度（きつと）皆済（かिसい）せしむべき者也

天保五年十月 矢 嶋 藤 蔵 印

右 村
名 主
組 頭
惣 百姓